

まちづくり交付金 事後評価シート  
十日市場地区

平成20年12月

神奈川県横浜市

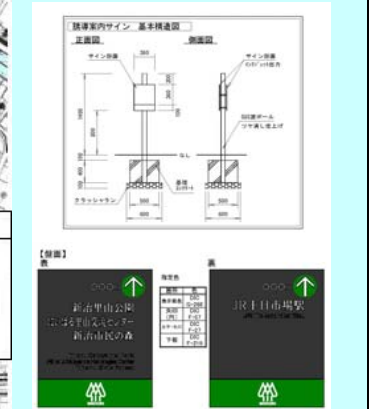
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	十日市場地区			面積	65.5ha
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	750百万円	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
			基幹事業	道路整備事業(5路線)、下水道整備事業(3箇所)、公園整備事業(1箇所)、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽、案内板設置)							
	当初計画から削除した事業		提案事業								
			事業活用調査(十日市場センター地区検討委託)								
	新たに追加した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			基幹事業	下水道整備事業			事業項目の適正化をはかるため、提案事業(地域創造支援事業)として実施。			影響なし。	
交付期間の変更		当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
		変更									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地域ネットワーク形成道路の整備率	%	86%	H16	100%	H20	100%	○	あり なし	安全な歩道を備えた道路ネットワークが完成 平成21年5月
	指標2	『市民の森』に至る歩行空間の整備率	%	40%	H16	100%	H20	108%	○	あり なし	地区内及び周辺からの来訪者の利便性向上に加え、『市民の森』の認知度アップが期待される。 平成21年5月
	指標3	公園の整備率	%	61%	H16	100%	H20	102%	○	あり なし	地区内居住者及び近隣居住者の憩いの場を提供するとともに地区に潤いを与える効果が期待される。 平成21年5月
	指標4									あり なし	
	指標5									あり なし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ネットワーク形成道路の整備率を指標としているが、十分な歩道幅員の道路を整備することにより、歩行者の利便性、安全性が向上した。</li> <li>・地域生活基盤整備事業として耐震性貯水槽を整備することにより、道路整備と合わせて、消防活動が困難な区域の解消に寄与している。</li> <li>・道路整備に合わせて一部、道路照明を設置したので、夜間の防犯性向上にも寄与している。</li> <li>・公園予定地などは仮囲いで囲われていたため、ゴミの不法投棄等もあったが、整備工事に着手し不法投棄などがなくなった。工事が完了することにより地区の景観も向上する。</li> </ul>										
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

## 様式2-2 地区の概要

十日市場地区(神奈川県横浜市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模市営住宅団地の建替えを契機として高品質な市街地形成を総合的に進めていく。</li> <li>市営住宅の建替えに加え、都市再生機構による賃貸住宅を導入し多様な居住者による活力ある地域コミュニティの形成を図るほか、安全な歩行者空間と地域ネットワークを形成するための道路整備や公園整備などの都市基盤整備を行なう。</li> <li>市営住宅団地の駅側の玄関口となる3つの街区(センター地区)の土地利用計画を再検討し、駅周辺地区との関連性のある街区形成を目指す。</li> </ul>	地域ネットワーク形成道路の整備率	単位: % 86% H16	100% H20	100% H20
	『市民の森』に至る歩行空間の整備率	単位: % 40% H16	100% H20	108% H20
	公園の整備率	単位: % 61% H16	100% H20	102% H20
		単位: H	H	H
	単位: H	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画道路の整備により、地区の道路網が形成され、歩道が整備されることにより、安全な通学路及び日常の歩行ルートが形成された。</li> <li>地区の西側に公園を整備することにより、バランスよく公園が配置され、近隣住民の憩いの場、交流の場が整備された。また、既存樹木等を多く残す計画としたことで、地域環境の向上にも寄与している。</li> <li>市営住宅の建替区域内のセンター地区の土地利用方針については、引き続き検討が必要である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路ネットワークについては、学校、地域住民、道路管理者等の連携による適切な維持管理を継続していく。</li> <li>場としての公園は整備されたので、利用しやすく親しみもてる公園とするためのソフト面の対応を図る。</li> <li>センター地区の土地利用については、引き続き庁内での検討を進め、民間活力の活用を含めて地域の活性化に寄与する土地活用を図る。</li> </ul>

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
十日市場地区

平成23年2月

神奈川県横浜市

# 1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地域ネットワーク形成道路の整備率	%	86%	100%	100%	確定 見込み ○	○	あり ○ なし	100%	H21年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	安全な歩行を備えた道路ネットワークが完成した。
指標2	『市民の森』に至る歩行空間の整備率	%	40%	100%	108%	確定 見込み ○	○	あり ○ なし	108%	H21年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内及び周辺からの来訪者の利便性向上に加え、『市民の森』の認知度アップもつながった。
指標3	公園の整備率	%	61%	100%	102%	確定 見込み ○	○	あり ○ なし	102%	H21年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内居住者及び近隣居住者の憩いの場を提供した。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全な通学路、歩行者空間の維持	・道路と案内板をそれぞれ道路管理者、区役所に円滑に管理引き継ぎを行った。	施設の維持管理が適切に行われるとともに、地域からの要望を把握したり、対応の実施がより円滑になった。	
	憩いの場、交流の場としての公園の活用	・公園が完成したことを地域タウン誌で広報。 ・公園愛護会の結成。	市営住宅自治会と周辺地域の自治会との共同で愛護会を結成したことにより、幅広い地域の住民による利用が促進された。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	センター地区の土地活用を図る。	民間活力の活用を含めて、地域の活性化に寄与する事業立案に向けた検討を実施した。	地区内の利便性の向上及び活性化のために、センター地区として必要とされる機能を把握するとともに、民間活力の導入の可能性を検証した。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

# 都市再生整備計画(清算報告)

とおかいちば  
十日市場地区

かながわけんよこはまし  
神奈川県横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。





## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ネットワーク形成及び安全な通学路確保のため道路整備を行う。</li> </ul>	十日市場道路整備事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の憩いの場としての公園を整備する。</li> </ul>	十日市場公園整備事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した市営住宅の建替事業により、良質な住宅の供給を図る。また公団住宅の建設も行うことにより、多様な人々の住む活力のある地域社会の形成を図る。</li> </ul>	住宅市街地整備総合支援事業 公営住宅整備事業 公共賃貸住宅総合再生事業
<p><b>その他</b></p> <p>当地区のうち、市営十日市場住宅の建替えにかかる区域は、公共賃貸住宅総合再生事業の事業承認を受け、多様な居住者層による地域コミュニティーが形成されるよう都市基盤整備公団による公団住宅の建設を行なっている。公団住宅の建設にあたっては、横浜市で策定した住宅市街地総合整備支援事業の整備計画に基づいて、都市基盤整備公団が開発事業計画を策定し、住宅供給を進めている。また、隣接する「新治市民の森」へ至るルートに案内板を設置し、駅からの歩行者を誘導する。</p>	

